



秋芳地域の新しい拠点づくりを考える 市民ワークショップ便り

No.5

2020.10.28

基本計画の素案について、概ねの合意が得られました！

昨年末から取り組んできた新秋芳総合支所整備の基本計画づくりの「第5回市民ワークショップ」が、9月19日に開催されました。途中、コロナ禍で6ヶ月間ワークショップが開催できず、第4回は紙上での変則的な開催となりました。第5回もグループでの議論を避け、間隔を開けた教室型の配置での開催になりました。

計画チームから、施設を構成する各機能の大まかなつながり方や、ふれあい祭りなどのイベント時の利用イメージなどについて説明を行ったのちに、参加者の皆さんから自由に意見を出してもらいました。主には、1,200㎡程度の規模で新しい地域の拠点の役割が担えるのか、という意見や、地域で協力して賑わいをつくるのが大切という意見のほか、人口減少が進む状況を踏まえ、コンパクトにつくり、しっかり使いこなすべき、という意見なども出されました。議論の末、地域がおかれている状況の中で、基本計画の素案として概ねの合意が得られました。この成果を反映して基本計画（案）を取りまとめ、9月29日から30日間、総合支所や各出張所などで公開し、パブリックコメント（意見募集）を実施しました。

基本計画は、施設整備の基本理念や施設構成の大枠についての考え方を示すもので、施設の詳細については、基本設計段階で引き続き検討を重ねていきます。



新型コロナウイルス感染症対策として、これまでと違って教室型の机配置でのワークショップとなりましたが、参加者の方々からは活発に意見が出されました！

第5回市民ワークショップ(9/19)プログラム

- ステップ1 はじめに
- ステップ2 第5回市民ワークショップの目的と流れを説明
- ステップ3 第3回市民ワークショップから、第4回市民ワークショップ(紙上)までの流れの確認
- ステップ4 第4回市民ワークショップ(紙上)で出された意見についてまとめたものを説明
- ステップ5 これまでの市民ワークショップで出された意見を集約して計画チームでまとめた平面計画素案について説明
- ステップ6 施設を構成する主要な機能のうち、多目的ホールの場所について議論
- ステップ7 新総合支所の主な整備方針および事業スケジュールなどについて確認
- ステップ8 まとめ

みんなで考える新しい拠点づくりの流れ

----- 基本計画段階 -----

◎第1回ワークショップ 12/14(土)
・秋芳地域の魅力と抱える課題
・こんな複合施設だったらいいな！



◎秋芳中学校ワークショップ 1/17(金)

◎第2回ワークショップ 1/18(土)
・建設場所について
・必要な場所・空間の相互関係



◎第3回ワークショップ 2/15(土)

・「空間の構成図」について検討
・体育館機能の維持・継承の考え方



◎第4回ワークショップ(紙上) 7月中旬

・市の基本方針について
・公民館、図書館、総合支所の3つの機能のつながり方について



◎第5回ワークショップ 9/19(土)

・基本計画案について



パブリックコメント・住民説明会

基本計画のとりまとめ



----- 基本設計段階 -----

◎第6回ワークショップ

・配置、平面計画
・内部空間と外部空間



◎第7回ワークショップ

・平面計画、断面計画、外観イメージ
・建物の性能を比較



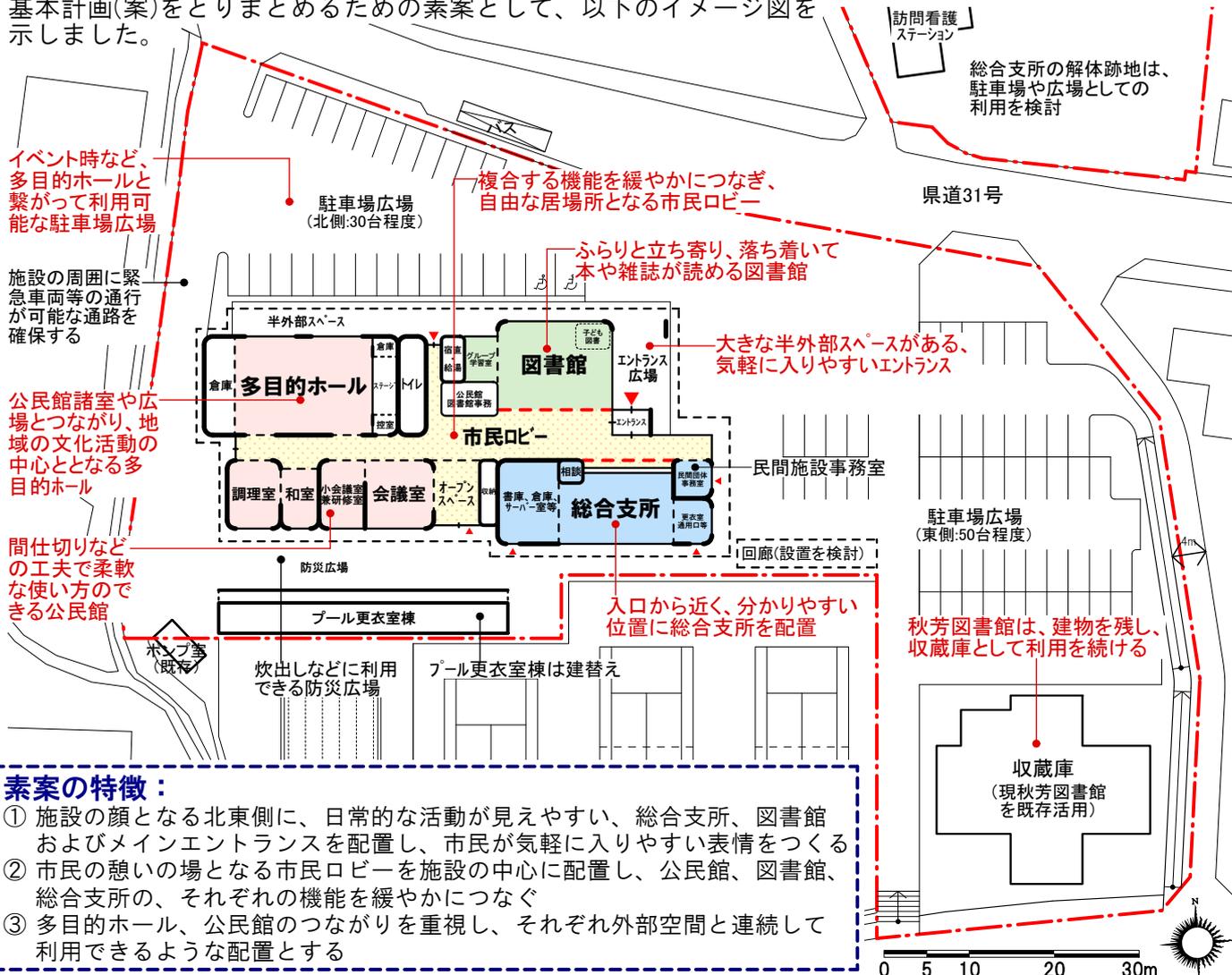
基本設計のとりまとめ



実施設計段階へ

施設の大まかな枠組みを示し、それぞれの機能の配置の考え方などについて説明しました

基本計画(案)をとりまとめるための素案として、以下のイメージ図を示しました。



素案の特徴：

- ① 施設の顔となる北東側に、日常的な活動が見えやすい、総合支所、図書館およびメインエントランスを配置し、市民が気軽に入りやすい表情をつくる
- ② 市民の憩いの場となる市民ロビーを施設の中心に配置し、公民館、図書館、総合支所の、それぞれの機能を緩やかにつなぐ
- ③ 多目的ホール、公民館のつながりを重視し、それぞれ外部空間と連続して利用できるような配置とする

ワークショップでは、参加者から様々な意見が出されました

施設内容について、〇〇をもっとこうしてほしい

- 〇ふれあい祭りなど、イベント時の利用を考え、多目的ホールは東側にひらく位置に配置してほしい。素案で示された建物の北側の広場では、狭い気がする。
- 〇地域に賑わいを生むためにはお店や金融機関などの複合が重要。ここに来れば何でも揃っているという、ワンストップサービスを実現してほしい。
- 〇地域の情報発信機能や、加工所としても使える調理室など、地域で頑張っている人を後押しできるような施設にしてほしい。
- 〇施設の充実のため、多目的ホールを除いた部分で1,200㎡程度として計画してほしい。公民館に会議室がもう一部屋ほしい。
- 〇地域の中心を担う施設なので、多目的ホールをもう少し大きくしてほしい。

賑わいをつくるのは、これからの私たちの仕事

- 〇地域に点在している他の施設とのつながりを生むビクターセンターとしての役割を果たせば、新総合支所に何から何まで揃ってなくてもよい。
- 〇建物だけでなく運営こそ大事。地域のみならず協力して、賑わいをつくるのがこれからの地域づくりに重要。
- 〇市にお金がなければ、外貨を稼ぐという考え方はどうか。地域には歴史家や生け花の先生などたくさんの人材がいる。市外から受講生を集め、受講料をもらったようなことは考えられないか。
- 〇今日のような議論を継続することが大事。市民と行政が身近に話し合える場をつくってほしい。みんなが一緒になって取り組むことで、賑わいが生まれる。

感想カードの中から、一部を紹介します

- 〇前向きな意見がたくさん出て、これまでのワークショップ以上に参加された皆様の熱意を感じた。参加された者だけではなく、町民(市民)一人一人が、このような気持ちで、まちづくりを進めることが大切だと思います。
- 〇1つの場所に集約して人を集めることはとてもいいことだと思うが運営の仕方、市民の使い方が大切になると思う。施設は小さくても構いませんが、将来的に盛り上がるような使い方をしたい。
- 〇限られた予算の中で、多くを取り込むことは大変だと思いますが、要は人にありきだと思います。いかに人材を掘り出し、やる気を出させるのも行政の仕事だと思います。施設を生かすために。
- 〇秋芳地域独自の特徴を活かした資源、産業等、外部へ情報発信している団体などの情報発信の場として活用できれば、観光と経済の両立が実現できるのではと思います。
- 〇会議室の隣の和室はいるのか。防災のためなら、ホールに一部畳をひけばいいのでは? 図書館の中に、畳の部分が欲しい(幼児が寝たり、本を読んでもらったりできるのでは)。
- 〇テニスコートとの関連性を考えてください。毎日、中学生、一般の人が使用していますので、大会等開催の時、父兄の応援の場所が回廊側ですので、検討お願いします。

基本計画は施設の大まかな枠組みを決める段階です。今後の基本設計段階では、施設の詳細な部分を検討していきます。今後も市民ワークショップを予定しておりますので、市民の皆さまのご理解とご協力をお願い致します。

〇お問い合わせ先：美祿市秋芳総合支所 総合窓口課 〒754-0511 美祿市秋芳町秋吉5335-1
TEL: 0837-62-1910 FAX: 0837-62-1828 E-mail: s-sogomadoguchi@city.mine.lg.jp

〇基本計画・基本設計策定業務受託事務所：
株式会社 龍環境計画 TEL: 03-3383-8673

〇市民ワークショップ便り発行：美祿市秋芳総合支所 総合窓口課